

令和元年第7回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和元年7月31日（水曜日） 午後2時05分から3時43分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 荻野毅・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実・高萩公民館長 駒井優
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第26号から第29号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第26号 日高市学校給食センター運営委員会への諮問について  
原案どおり可決
- 議案第27号 令和2年度使用小学校用教科用図書の採択について  
原案どおり可決
- 議案第28号 令和2年度使用中学校用教科用図書の採択について  
原案どおり可決
- 議案第29号 日高市教育事務の点検評価に係る学識経験者の委嘱について  
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
  - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
  - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
 

【教育長報告関連】

(委員) 教職員の負担軽減として、例えば市で実施している水泳教室などで水泳連盟にお願いしているが、水泳連盟など専門的な方を各学校に派遣して、指導をお

願いすることはできないか。

(教育長) 水泳教室については、現在、水泳連盟の行事であるが、学校とタイアップして実施していくなど、まさに地域学校協働本部の考え方である。ほかにも陸上なども考えられる。

(教育部参事) 授業でやる場合、教員が必ずいないといけないので、すべてをお願いできないが、ゲストティーチャーという形でお願いできれば良いと思う。

#### 【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 教職員について、十分な休養を指示しているが、研修や休暇のパターンについての現状は。

(教育長) 休みについては、大体お盆前後に取っている。

(教育部参事) 8月の後半に研修が2、3日ある。夏休については、8、9月に5日間必ず取ることとし、マイリフレッシュ制度など教職員がうまく調整して取っている。あとは土曜授業などの代休を夏休み期間中に取っている。

(委員) 年間で大体、何日間休みを取っているのか。教職員が夏休み期間中に学校に行っていなければならないことは何か。

(教育部参事) 一般企業のお盆休み程度である。中学校であれば、部活動の指導や補習、備品の整理などがある。

(委員) 補習の話が出たが、同じく学力向上についての指示で夏休みの補習等、学力向上へ向けての手立てとあるが、働き方改革の観点から教職員への要求が非常に多いと感じる。夏休み期間は研修が集中的に実施されるようであるが、研修などはどの程度必要なのか。

(教育長) 当然、必要であるが、かなり見直しをしているところではある。年次研修など必ず参加しなければいけない研修もある。

(教育部参事) 精査をして参加すべき研修を見定めていきたい。

(委員) 部活動について、手当は出ているのか。

(教育部参事) 土日など休みの日について手当はある。

(委員2) 研修について、実際には他の機関での研修ではなく、学校で計画する校内研修の方が多くはないか。また、割合として小学校が多いのではないか。

(教育部参事) そのとおりである。校内研修を見直している。

(委員) 休むよう指示をするにしても、具体的に指示をしないと取りづらいつ感じるのではないか。

(教育長) ある程度、集中的に休みを取る期間の範囲を定めて休んでもらうようにしている。

(委員3) 研修の見直しについて、来年度から小学校では外国語やプログラミング教育が始まるなど、見直しを検討しているところで新たな制度が開始されるので、バランスがとれるような見直しをしてほしい。

(学校教育課副参事) プログラミング教育に関しては、小学校のコンピューター室の入れ替えを検討しており、実施に適した環境となるように進めているところである。

(委員3) コンピューターは1人に1台か。

(学校教育課副参事) 予算的に1人1台は難しいが、少人数で実施し、子どもたちが実際に体験できるような内容で検討している。外国語に関しては、AETの活用や小学校の教員については、英語の専門ではないが、教育センターに配置している英語専門の職員により、指導方法の研修会を開催するなど不備の無いよう進めているところである。

(委員) 夏休みの補習について、どのように子どもたちを抽出しているのかなどの実施方法について教えてほしい。

(教育部参事) 学校ごとに違うが、まずは子どもたち全体に投げかけて、次に教職員から声をかけて時間を設定し、主に国語・数学・英語の3教科を中心に1週間程度で実施している。

(委員) 主に中学生か。

(教育部参事) 主に中学校で、小学校ではあまり例がない。

(委員) 教える内容は。

(教育部参事) 主に基礎的な内容である。

(委員) それと同時にスキルアップを目指した内容も実施してほしい。最近の受験の問題の傾向を見ても、考える力がないと解けない問題が増えてきている。考える力を養うような内容も必要と考える。全体の底上げをする補習も大事であるが、学力向上を目指した補習の機会を設けることもお願いしたい。PTAが補習に参加して実施していると聞いたが、良いことであると思う。

(教育長) 学習も含めて、地域の皆様と進めていけるような手法も検討したい。

(委員) 学力向上について、意見として、補習の対象となる子どもたちをいかに拾い上げるか。例えば小中一貫教育となり、中学生が小学校でつまづいた部分を補習する場合でも、中学生はある程度自我が芽生えているので、小学生と一緒にとなると抵抗があるのではないか。そのようなメンタルな部分を検証してどのように取り組むか研究する必要がある。

(委員) レインボー埼玉の会の面会で、性的マイノリティにフレンドリーな日高市を目指す要望書が提出されたとのことであるが、どのようなことか。

(教育長) 具体的な要望ではなく、日高市が非常に理解を示しているというお話はいただいた。人権教育などを進めている部分などが評価を得られたのではないか。

(委員) PTA 聯合会の講演会で、演題が「問われる 21 世紀型学力」とのことであるが、主要な内容は何か。

(教育長) 主要な内容としては、親が子どもにいろいろな体験をさせてほしいと言うことであった。

(教育部参事) 親子で「は・み・が・き・よ・し」の習慣をつけるようにお話があった。話す、見る、書く、聴く、読む、調べる習慣を親子で実践してほしいとのことであった。

(委員) 話の内容を聞く限り、21世紀型学力ということで、特別新しい目線から具体的な話があったわけではなさそうであるが、具体的な部分はなかったのか。体験というが、なかなか体験させる機会がない。

(教育長) 話す、見るなどを通じて、その体験のきっかけを家庭の中でつかんでほしいとの趣旨であった。

(委員) 県の学力学習状況調査について、一人一人の頑張りを認めてほしいと県から話があったようであるが、検証は出来ているのか。

(学校教育課副参事) この夏に結果が返ってきたので、各学校でどのような指導方法が良かったのか、去年のクラスのこの教科の指導方法が良かったであるとか、今後の指導方法を検討し、対策を練っていくことをこの夏の研修で実施していく。

(委員) 前年比など数値上で向上が見られた部分を拾い上げていくのか。行政側が一方的な思い込みで、良い指導方法と感じているものではなく、あくまでも数値上の向上があった部分を分析した指導方法か。

(学校教育課副参事) あくまでも数値上で判断している。

(教育長) 学級ごとに結果が出るので、数値が伸びている学級の先生の指導方法をクローズアップして、方法を共有することとしている。

(委員) ここで部活動の大会などがあったが、今年度、部活動の方針を作成したが、この夏休みにどう生かしているか。

(学校教育課副参事) 今年度から方針に沿って実施している。

(委員) 子どもたちの負担や教員の勤務の負担軽減についてはどうか。

(学校教育課副参事) まだ、夏休みが始まって1週間であり、分析データが少ないが、部活動を短時間で集中的にやるなど対応をしており、今のところ不具合は生じていない。また、状況が整理できた段階で報告したい。

(委員) 教職員の夏休み中の休暇など、統計を取ると思うが、確実に教職員の休暇が増えるようにしてほしい。

(学校教育課長) 夏季休暇と年次休暇と職務専念義務の免除について、取得日数の報告が上がるので、取得が少ない場合など具体的な指導はできる。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

##### 議案第26号について

(委員) 給食費について、どの程度値上げするのか。

(教育総務課長) 現在、試算中である。学校給食センター運営委員会に諮り検討していただく。

(委員) センター方式は、近隣ではどこが実施しているか。

(教育総務課長) 鶴ヶ島市、入間市の一部、毛呂山町などがある。

(委員) センター方式の市が共同で食材などを調達すれば、スケールメリットにより安価で仕入れることが出来るのではないか。

(教育総務課長) ご飯とパンなど主食については、県内一括で仕入れている。

(教育長) 各市の献立を統一するなどの課題が考えられるが、研究したい。

(委員) また、今後、給食センターを建て替える場合、建設中に他市の給食センターや自校式の市へ依頼して給食を作ってもらうなど、何か広域で実施する方法などいろいろ研究しても良いと思う。

(教育長) 研究していきたい。

(委員2) 給食費を滞納している方はどのくらいいるのか。値上げした場合、滞納する方が増加することも考えられるので、値上げの理由をしっかりと整理したほうが良い。

(教育長) 生活が困難な方については、市の援助制度もあるのでご理解いただきたい。

議案第27号について

【質疑なし】

議案第28号について

【質疑なし】

議案第29号について

【非公開のため記載せず】

## 5) その他

### (1) 次回定例会の日程等について

○8月定例会：8月26日（月曜日）午後1時40分から 委員了承

○9月定例会：9月26日（木曜日）午後2時00分から 委員了承

### (2) その他連絡事項

○令和元年度入間地区教育委員会連合会全体研修会

10月29日 午後【飯能市】

○令和元年度入間地区教育委員会連合会視察研修

11月14日 【東京都】